

### 3 文の組み立て (2)

名前

年 組 番

100点

1 【連文節】 次の文から、主部、述部、修飾部をそれぞれ抜き出なさい。  
6点×9

① 小さな鳥がかわいい声で鳴いている。

主部

述部

修飾部

② 美術の本が机の上に置いてある。

主部

述部

修飾部

③ 先週の末から、雨の日が続いている。

主部

述部

修飾部

2 【補助の関係】 線が補助の關係の文を、次から二つ選びなさい。  
5点×2

ア この本は図書室で借りた。

イ この花はきれいで華やかだ。  
はな

ウ 君には話しておきたい。

エ この夏は暑くて参るよ。

オ 向こう岸まで泳いでみよう。

3 【並立の關係】 次の各文の並立の關係にある二文節を選びなさい。  
各完答 6点×3

① 父アと母イは今日外ウ出エしていまオす。

② 寺アまでの道イは細ウくて険エしい。

③ 学校アへはバスイか電車ウで通エつていまオす。

4 【文の組み立て】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。  
(2)(3)各完答 6点×3

A 日本に住む私たちは、他国では信じられないくらい安価に、水を手に入れられる。

B これは、日本が水資源に恵めぐまれていることの証拠しやうこだと言えるだろう。雨が降ることによって、山林や農地は潤うるおい、川の水が栄養に富んだ土を平野にまで運んだ。

(1) Aの文から、主部を抜き出なさい。

(2) Bの文から、補助の關係にある二文節を抜き出なさい。

(3) この文章中から、並立の關係にある二文節を抜き出なさい。

### 3 文の組み立て (2)

名前

年組番

解答

- ① 主部 小さな鳥が  
述部 鳴いている  
修飾部 かわいい声で
- ② 主部 美術の本が  
述部 置いてある  
修飾部 机の上に
- ③ 主部 雨の日が  
述部 続いている  
修飾部 先週の末から
- ② ウ・オ (順不同)
- ③ ① ア・イ  
② ウ・エ  
③ イ・ウ
- ④ ① 日本に住む私たちは  
② 恵まれて いる  
③ 山林や 農地は

解説

- ① 主語の「鳥が」、述語の「鳴く」、修飾語の「声で」を中心としたそれぞれのまとまりを考える。
- ② 主語の「本が」を中心とする主部に対し、「置いてある」が述部、「机の上に」は述部を修飾している。
- ③ 「日」が主語で、「続いている」が対応する述部である。「先週の末から」は述部を修飾している。
- ② 補助の関係は「○○て(で) + △△」という形で、あとの文節(補助語)がすぐ前の文節を補助する関係である。補助語は、本来の意味がうすれて用いられる。
- ア・エは修飾・被修飾の関係、イは並立の関係である。
- ③ 対等の働きをする二つ以上の文節の関係を「並立の関係」という。並立の関係の文節は、入れ替えても意味に変化がないことが多い。
- ④ ① 述部は「手に入れられる」、修飾部は「他国では信じられないくらい安価に」である。
- ② 補助語は、本来の意味がうすれて用いられる。
- ③ 「山林や農地は」を「農地や山林は」と入れ替えても同じ意味である。